

5勝目を挙げた「猫田さんのチーム」(10月31日)



さて、今回は名古屋遠征で滞在したホテルでの出来事を記したい。「世の中にこんなにもうまいカレーがあるのか」と驚くほど食事がおいしかった。食事会場を出ると担当の男性に話し

はばたけ！  
JTサンダーズ広島



竹田 英司

## 猫田さん 国境越え人気

掛けられた。「私は韓国出身ですが猫田(勝敏)さんが大好きで、ミュンヘン五輪はテレビで応援しました。日本のバレー雑誌を買って猫田さんの写真を…」と言われたので、私は「当時は日本の歌や本は禁止されていましたよね」と尋ねた。

「人間の愛する気持ちは誰も止められません。私は猫田さんの写真だけでなく記事も読みたくなくて、日本語の勉強を始めました。そして今は猫田さんのチームのお世話をしている。不思議なご縁です」とおっしゃった。

食事時間や人数が変更になっても、丁寧に対応してもらった。その感謝を申し上げると、「実は料理長も猫田さんのファンなんです。『猫田さんの天井サーブはすごかった。猫田さんのチームのお役に立てるなら…』と申しておりました」との言葉に私は胸が熱くなった。

名古屋遠征では5連勝を飾った後、東レに今季初黒星を喫し、悔しい思いをしたが、改めて実感した。「世界一のセッター」は今も時代や国境を越えて多くの人々の心の中で生きている。(JT広島マネジャー)